

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	平成25年度第1回吉川市介護福祉推進協議会
開 催 日 時	平成26年1月27日(月) 午後3時00分から 午後4時10分まで
開 催 場 所	吉川市役所 204会議室
出席委員(者)氏名	中村 信委員、矢野 義光委員、戸張 英男委員、 峯尾 武巳委員、中田 眞矢子委員、越川 千春委員
欠席委員(者)氏名	大脇 俊彦委員
担当課職員職氏名	いきいき推進課 課長 伊東 孝 いきいき推進課 課長補佐兼 介護給付係長 海老沼浩行 いきいき推進課高齢福祉係長 曾我 幸央 いきいき推進課介護給付係 互井 美香
会議次第と会議の 公開又は非公開の別	(1) 第5期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について (2) 日常生活圏域ニーズ調査について (3) その他
非公開の理由(会議を 非公開にした場合)	
傍 聴 者 の 数	3名
会議資料の名称	1. 第5期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の進捗状況について ・高齢者サービス・地域支援事業 (資料1-1) ・介護給付費 (資料1-2) 2. 日常生活圏域ニーズ調査について ・高齢者日常生活調査(案) (資料2-1) ・日常生活圏域ニーズ調査 (居宅サービス利用者向け)(案) (資料2-2)
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	中田 眞矢子委員、越川 千春委員
その他の必要事項	なし

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
開 会	
会長あいさつ	
議事	議事の前に中田委員、越川委員を議事録署名委員に指名する。
中村会長	
(1)第5期吉川市高齢者福祉推進計画・介護保険事業計画の進捗状況について	(事務局説明) ・高齢者サービス・地域支援事業(資料1-1)、介護給付費(資料1-2)について資料に基づき説明がなされた。
矢野委員	各教室の実績は、1コースあたり15回ということだが、利用者数はどのように数えているのか。
事務局	1コースあたり15回実施なので、いきいき運動教室の平成25年度実績では開催数180回は、15で割ると12コースとなる。12コースあるが前期と後期の各6コースで開催していて、全部で180回となっている。1コースあたりの定員数は30から55人なので、延べ人数でいうともっと多い利用者数になる。また、利用者561人の中には重複している人もいる。
矢野委員	介護給付費の実績の中で、予防の認知症対応型共同生活介護は計画になかったが利用があるなど、計画を変更しなければならないのだろうかと思う。その傾向をどうみるのか。療養管理指導、福祉用具貸与、共同生活介護なども計画とずれてきている。次年度以降どうでてくるか、みていかなければいけないと思う。
事務局	3年間の計画なので、第6期計画に向けてさらに精査していきたい。この第5期計画は計画としてこのままいきたい。
矢野委員	実態は動く。制度が動いてきているので、傾向をつかむ必要があるのでは。
事務局	施設の廃止など想定外はあった。介護給付費については、第5期計画全体の枠の中で泳いでいる。 今までの傾向や高齢者数の増加などを見込んで予想をたてて、3年間の計画をたてている。新しいものは必要であると判断して計画をたてたが、事業所が立ち上がらないと進まない。この経験を生かして第6期計画はより精度の高いものをつくりたい。

(2) 日常生活圏域ニーズ調査について	(事務局説明) ・高齢者日常生活調査(案)(資料2-1)、日常生活圏域ニーズ調査(居宅サービス利用者向け)(案)(資料1-2)について資料に基づき説明がなされた。
中田委員	10ページ問2のQ7外出の質問で「いいえ」を選択した場合、「Q8へ」ということだが、「Q8」がない。18ページ問11の介護保険料の第4段階の対象となる方の表示が、「80万円以下を <u>超える方</u> 」となっているので修正が必要。 17ページのQ3運転免許証の質問で、答えに「持っていたが返納した」という選択肢もいれたらどうか。
事務局	ご指摘の2点については修正する。17ページの件については、検討したい。
越川委員	多くの質問があるが、どのように利用するのか。
事務局	回収したアンケートを分析し、保険者(利用者)がどのような介護サービスを求めているか把握する。例えば、居宅サービスを利用されている方が、今後、施設利用を希望する人が多い場合、施設が不足すると考えられれば、施設の建設が必要となり、その費用をどうするのか、保険料はいくらになるのかなどを検討し、吉川市の第6期計画に反映させていく。
中田委員	質問が非常に多い。煩雑で1人で回答できるか。
事務局	3年前に行った調査と比べると多少は質問の数が増えている。質問の数を減らす努力はしていきたい。
矢野委員	介護だけに使うのか。
事務局	一般高齢者に対しては、外出支援や買い物支援についての質問を入れてある。閉じこもりがちな人を介護予防につなげるなど、広く高齢者福祉施策に利用する。
峯尾委員	地域包括ケアシステムにからめることができるのではないかと思う。もう一工夫あってもよいかと思う。
中田委員	3月28日までに投函してくださいということだが、いつ頃発送するのか。
事務局	2月中旬ごろには発送したい。
中田委員	前回の回収率は。
事務局	居宅サービス利用者742件中417件からの回答があり、56.2%。65歳以上の無作為抽出の場合は1,000件中626件からの回答があり62.6%だった。
(3) その他	なし

